

**craft-base.com**

# 築30年以上の木造軸組構造を狙え！ いざ、中古住宅のリノベーションへ

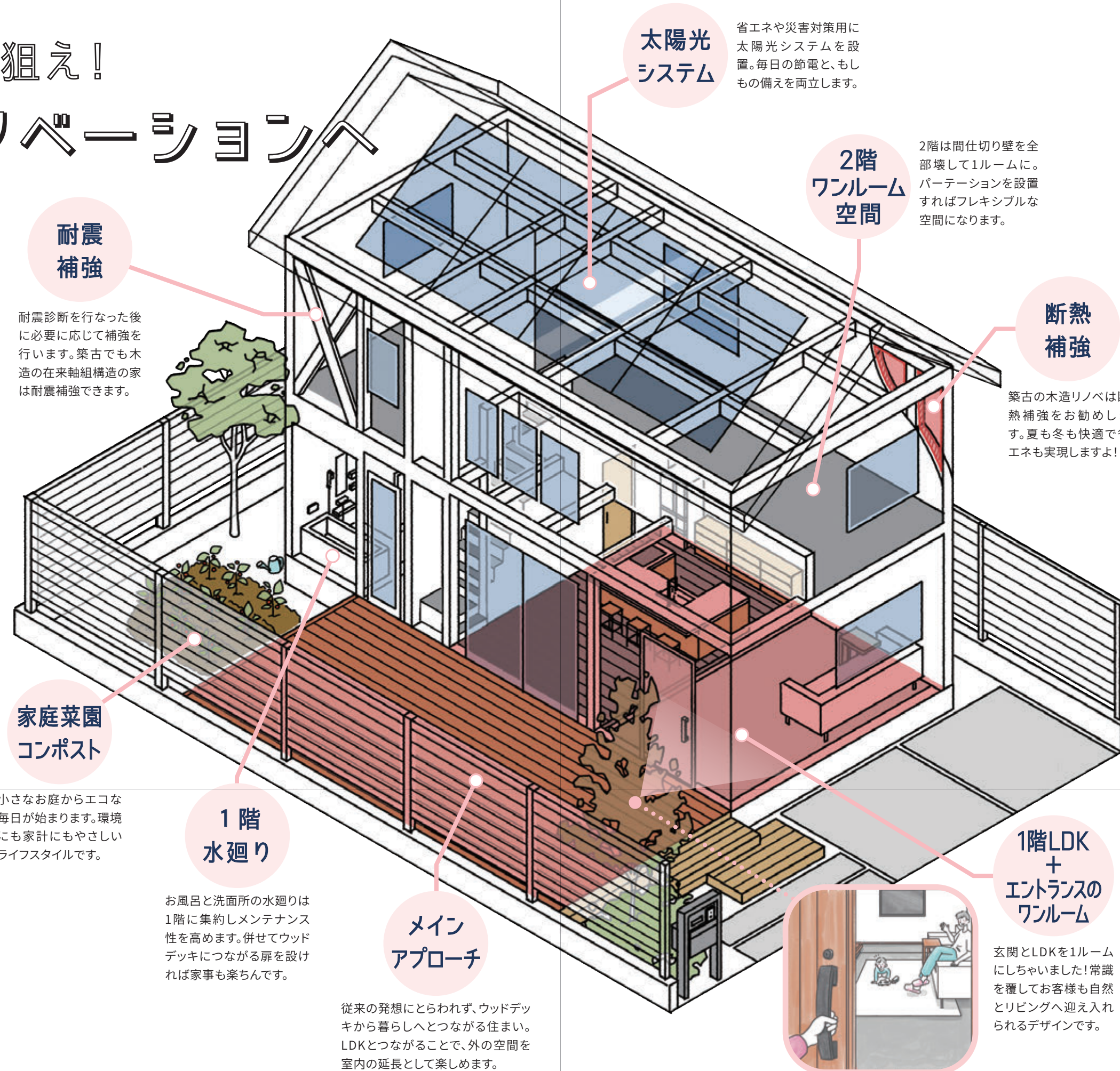
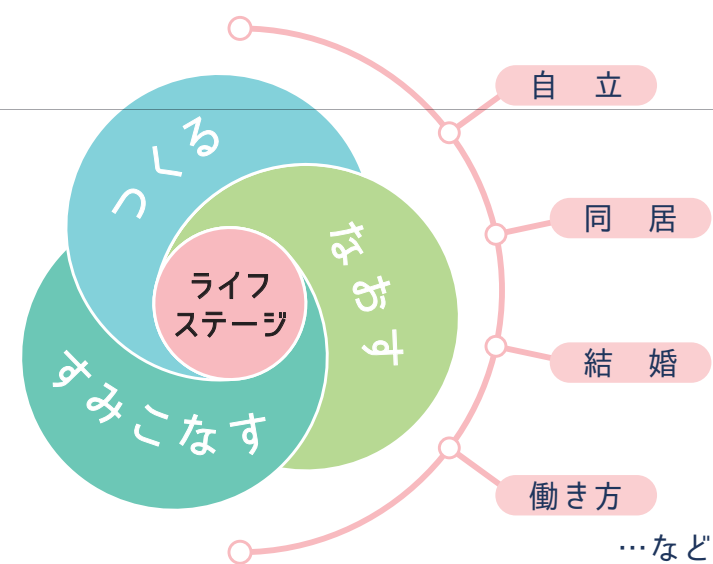
## つくる、なおす、すみこなすのサイクルへ

家は、完成しないものだと言った方が、今の暮らしにはしっくりくるかもしれません。家族構成は変わり、働き方も変わる。家電や住宅設備は日々進化し、暮らし方や価値観も、10年ひと昔。あのとき“ちょうどよかった”間取りも、今では使いづらく感じたり、空間ももったいなく思えたりするものです。だからこそ、家は「つくったら終わり」ではなく、暮らしの変化に応じて“いじる”ことを前提にしているのだと思います。

- ・間取りをシンプルにする。
- ・収納を見直す。
- ・断熱性を高める。
- ・気持ちの良い素材を取り入れる。
- ・そして、DIYでちょっと手を加えてみる。

それらの積み重ねが、「なおす」ということ。そして、なおした家で自分らしい時間を重ねていくことが、「すみこなす」ということ。そんなサイクルの入り口として、今、中古住宅を自分たちで整えていくという選択が、見直されています。

「家を買う」ではなく、「暮らしをつくる」「自分たちの手で整えてすみこなしている」という視点から、次の住まいを考えてみませんか。



太陽光システム

省エネや災害対策用に太陽光システムを設置。毎日の節電と、もしもの備えを両立します。

2階ワンルーム空間

2階は間仕切り壁を全部壊して1ルームに。パーテーションを設置すればフレキシブルな空間になります。

断熱補強

築古の木造リノベは断熱補強をお勧めします。夏も冬も快適で省エネも実現しますよ！

耐震補強

耐震診断を行なった後に必要に応じて補強を行います。築古でも木造の在来軸組構造の家は耐震補強できます。

家庭菜園コンポスト

小さなお庭からエコな毎日が始まります。環境にも家計にもやさしいライフスタイルです。

1階水廻り

お風呂と洗面所の水廻りは1階に集約しメンテナンス性を高めます。併せてウッドデッキにつながる扉を設ければ家事も楽ちんです。

メインアプローチ

従来の発想にとらわれず、ウッドデッキから暮らしへとつながる住まい。LDKとつながることで、外の空間を室内の延長として楽しめます。

1階LDK + エントランスのワンルーム

玄関とLDKを1ルームにしちゃいました！常識を覆してお客様も自然とリビングへ迎え入れられるデザインです。

## 1 築古を狙おう



### ■ リノベの可能性を確認する

築30年～50年の在来軸組構造の家には、大きな可能性が詰まっています。物件探しの段階から現地へ同行し、建物の状態やリノベーションの可能性と一緒に確認します。

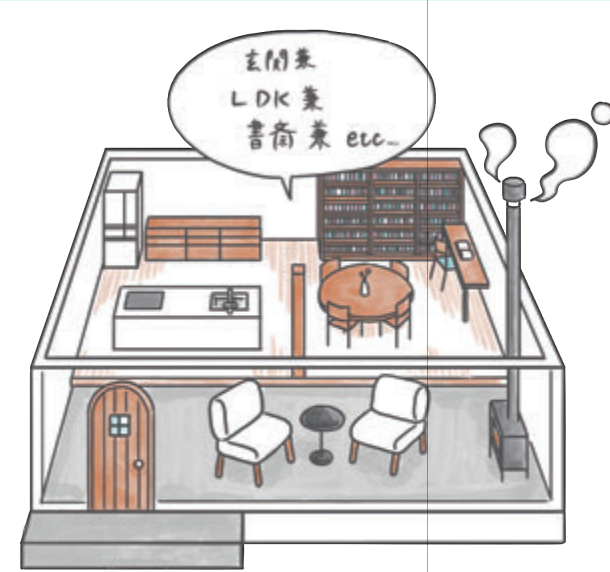
## 2 インスピレーションを得よう



### ■ 現場でアイデアを出す

住まいづくりは、机の上だけで考えるものではありません。ふとした瞬間にインスピレーションはやってくるもの。だからこそ、「とりあえず見に行く」「とりあえず考えてみる」、その一歩が、大切です。

## 3 つくる、なおす、すみこなすを楽しもう



### ■ 家づくりは“暮らしをつくるプロジェクト”です

結婚、出産、子どもの自立、親との同居、転職や在宅ワーク…ライフステージに合わせて、暮らしは必ず変わっていくものです。だからこそ、住まいも変わっていく。むしろ「家は完成しないものだと思う」くらいが、ちょうどいいのかもしれません。



家づくりは、型にはめるものではなく、暮らしにフィットさせていくもの。つくって、なおして、住みこなして、また変えていく。そんな循環の中でこそ、住まいはあなたの人生のステージを支え、広げてくれるはずです。家づくりは暮らしをつくるプロジェクトです。

## 常識を覆せ！ 中古住宅リノベーションの流れ

中古住宅をリノベーションして、自分たちらしい暮らしをつくる。そのためには、流れに沿って一歩ずつ、でも柔軟に進めていくことが大切です。ここでは、コスガ工務店がご提案するリノベーションのプロセスをご紹介します。

## 1 築古を狙おう

### ポテンシャルのある家を、目利きと一緒に見つける

- 築30年～50年の在来軸組構造の家には、大きな可能性が詰まっています。構造がしっかりしていれば、間取りの変更や断熱改修など、フレキシブルなリノベが可能です。私たちは、物件探しの段階から現地へ同行し、建物の状態やリノベーションの可能性と一緒に確認します。
- ・中古物件の下見に同行
- ・耐震診断・既存建物調査
- ・概算予算の把握
- ・（購入＋リノベ費用）

## 2 インスピレーションを得よう

### 考えるより、感じてみる。アイデアは外にある

住まいづくりは、机の上だけで考えるものではありません。何気ない散歩や、旅先で見た風景、YouTubeの一場面からもヒントが生まれます。

- ・ニトリ・IKEAなどでのぶらりインテリア巡り
- ・カフェ・図書館・古民家など「施設からの気づき」
- ・キャンプ・車中泊・収納術など体験から得る学び

海外のライフスタイルや飛行機の座席レイアウト動画からの視点転換もおおすすめです。「おもしろそう」と思ったことは、すべてインスピレーションの種になります。

## 3 スケルトンにしてから現場で考えよう

### 図面では見えない“暮らしの風景”を見つける

物件をスケルトン状態にしたあと、実際の空間に立ってみて考えることで、「ここを広げたい」「この窓から光が入ったらいいな」などの具体的なイメージが湧いてきます。

- ・スケルトン後の現場打ち合わせ
- ・建物の現場を把握し、できること・できないことを見極める
- ・減築も含めた、予算に合わせたプラン提案
- ・採光、動線、眺望など五感を使って“暮らし”を想像

## 4 プロと素人の、いいあんばいを探ろう

### 自分たちらしさと、プロの知恵。その両方でつくる住まい

理想の住まいを形にするには、やってみたい気持ちと、技術や経験のバランスが大切です。「任せっぱなし」でも、「自分で全部やる」でもない、心地よい距離感が成功のカギです。そのための4つのステップを以下でご紹介します。

### できる範囲の作業は自分の手で、 難しい作業はプロの手に。

#### 4つのステップ

- ① やってみたいことをリストにする
- ② プロに相談し、できる・できないを見極める
- ③ 一部はDIYで関わってみる
- ④ 楽しさと安心のあいだでバランスをとる

詳しくはこちら

